

テニス部顧問の皆様

平素より、テニス部員の指導をはじめ、高体連、専門部へのご協力ありがとうございます。

2025年1月に開催された拡大専門委員会での審議および決定事項についてまとめました。本来であれば、顧問総会を経て決定すべき事案ですが、11月3日に予定されていた令和6年度長野県高体連テニス専門部顧問総会は、悪天候による大会日程の変更に伴い中止となりました。高校総体については、来年度からの変更となるため、拡大専門委員会での決定事項に目を通していただき、この決定を承認していただければと考えます。ご意見・ご質問等がありましたら、各地区の専門委員長へお尋ねください。よろしく願いいたします。

長野県高体連テニス専門部 委員長 土橋 亜希

長野県高体連テニス専門部拡大委員会での審議・決定事項

◎審議内容（大枠）

- ①高校総体個人戦シングルスについて、増枠にともなう各地区の出場配分の方法を検討する。
- ②高校生最後の大会である高校総体に、3年生が全員参加できるようにしたいという願いから、ダブルスのみ参加制限を緩和または撤廃できないか検討する。

1. 令和7年度高校総体長野県大会個人戦シングルスの出場配分について

○来年度より個人戦シングルスの出場者が32名から48名に拡大される

そこで、「各地区の出場者をどのように配分するか」という配分方法を、

「地区により登録者数が大きく異なるという現状」や「特定地区に実力者が多いという現状」を踏まえて、以下のように決定した。

<p>①強度枠は4とする。</p> <p style="padding-left: 20px;">県ジュニアランキング上位者のいる地区への配分とし、上位8名を対象とする。 (1名につき0.5、最大で4)</p> <p>②比例枠は44とする。</p> <p style="padding-left: 20px;">各地区の高体連登録者数による配分とし、 地区の登録人数/全県の登録人数×出場枠数(44)で算出する。 なお、登録人数の数は各年度の高体連登録数を参考とする。</p> <p>③各地区の最低出場数は8とし、合計(A+B)が8に満たない地区は出場数を8とする。</p> <p>④各地区の最大出場数は16とする。</p>	決定事項
--	------

○以下は、令和6年度の登録人数およびジュニアランキングから算出した来年度の出場数（仮）

(参考)	R6男子	中信	南信	北信	東信	計		R6女子	中信	南信	北信	東信	計	
A	強度枠	3.5	0.5					A	強度枠	4				
	登録人数	146	219	176	84	625	541		登録人数	99	135	98	61	393
	比例枠	10.278	15.418	12.39	5.9136	44			比例枠	11.084	15.115	10.972	6.8295	44
B	割合3地区	9.7153	14.573	11.712	8	44	36	B	割合3地区	10.735	14.639	10.627	8	44
A+B	合計	13.215	15.073	11.712	8	48		A+B	合計	14.735	14.639	10.627	8	48
	出場数	13	15	12	8	48			出場数	15	15	10	8	48

男子：中信 13 南信 15 北信 12 東信 8

女子：中信 15 南信 15 北信 10 東信 8

※正式な出場数については、来年度の登録人数がわかったところで決定する

2. 各地区総体個人戦ダブルスの参加人数制限緩和について

○「高校生最後の大会である高校総体にすべての3年生が参加できるようにしてほしい」という意見について検討し、以下のような形でその実現を図ることを決定した。

現状：シングルスは各校男女8名まで、ダブルスは各校男女6組まで → 変更後 ：3年生に限りダブルスは7組目以降も出場を認める。 <ul style="list-style-type: none">・団体戦およびシングルスに出場しない3年生が対象となる。・該当する3年生が奇数の場合は、下級生とのペアを認める。・ただし、県大会に出場できるペア数は、1校で最大6ペアとする。	決定事項
---	------

○懸念事項：出場者数増加に伴い、運営が困難にはならないか。

(48ドロー決定にともない、シングルの試合数も増えている)

→ダブルスは予選と本戦を分けて実施する。予選は7組目以降のペアが参加する。

ダブルスの予選を団体戦またはシングルスと並行して実施することで問題を解消したい。

●以下予選の実施方法（細部は各地区専門委員会で検討する） <ul style="list-style-type: none">・地区の状況に応じてトーナメント方式またはリーグ戦方式とする。・試合形式は1セットマッチを基本とするが、場合により変更もあり得る。・予選を勝ち上がった1ペアが本戦に出場する。・ダブルスの予選は、団体戦またはシングルスと並行して実施する。 <p>○登録方法は？ ※該当校は、各地区の専門委員長に相談する。</p> <p>→認知書 …出場するすべての選手を入力する。</p> <p>れじすた …7、7. 1、8、8. 1・・・と入力する（誰が7組目以降のペアか分かるように入力）</p>	決定事項
---	------

3. その他の確認事項

・浅間庭球公園テニスコート 改修工事について

1～6面 9月1日～3月31日

※この影響で来年度は大会日程・場所が

7～20面 12月1日～3月31日

大きく変わる可能性がある



- ・県新人戦の日程を3日間にして開催する予定
- ・県新人選手権は別会場（豊科）も利用できるように現在申請中
- ・4地区対抗戦 できるかどうかわからない 日程・場所ともに未定

・軽井沢フェスティバル

今年度は4月25日（土）・26日（日）に実施する 会場等確保済み

長野県高体連テニス専門部 拡大専門委員会 令和7年1月10日（金） 松本第一高校 会議室にて実施

出席者 北信：山口 武（長野）、赤塩 仁（長野吉田）、上野 修（中野立志館）

東信：正村 真一（上田西）、竹内 弘（野沢北）

南信：土橋亜希（伊那弥生ヶ丘）、宮島 浩（飯田 OIDE 長姫）、傳田佳史（諏訪清陵）

中信：勝家 康太郎（松本県ヶ丘）、柵山寛之（松本第一）、山田哲生（松商学園）

（県テニス協会：木下 悟志（理事長））